

2022 年 8 月 25 日

Transphorm, Inc.の株式売却について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する Transphorm, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、CEO：Mario Rivas、以下「Transphorm 社」）の株式について、その一部を、米国の新興株取引市場である OTCQX Best 市場において売却し、残りの株式については、その全部を 2 月に上場した NASDAQ 市場において売却しましたので、お知らせいたします。

Transphorm, Inc. について

設立 : 2007 年
所在地 : 米国カリフォルニア州サンタバーバラ
代表者 : CEO Mario Rivas
事業内容 : GaN（窒化ガリウム）パワー半導体・モジュールの開発・製造・販売
上場市場 : NASDAQ 市場（NASDAQ : TGAN）

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

【別紙】

1. 対象会社

- ・ 事業者名 : Transphorm, Inc.
- ・ 設立 : 2007 年
- ・ 所在地 : 米国カリフォルニア州サンタバーバラ
- ・ 代表者 : CEO Mario Rivas
- ・ 事業内容 : GaN（窒化ガリウム）パワー半導体・モジュールの開発・製造・販売
- ・ 上場市場 : NASDAQ 市場（NASDAQ : TGAN）

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定公表日 : 2012 年 10 月 1 日
- ・ 支援決定金額 : 30 億円（上限）
- ・ 実投資額 : 25 百万米ドル（約 19.5 億円）

「株式会社産業革新機構は、既存投資先である日本インター株式会社と共に、米国の GaN パワー半導体ベンチャー Transphorm, Inc.への出資を決定」

<https://www.incj.co.jp/newsroom/assets/1417679127.01.pdf>

3. 経緯

（1）出資の経緯

Transphorm 社は、University of California, Santa Barbara の Professor Umesh Mishra と豊富な業界経験を持つ Dr. Primit Parikh によって 2007 年に設立された、次世代パワー半導体の一つである GaN（窒化ガリウム）のリーディング企業。GaN パワー半導体は、電力損失を大幅に低減し、省エネ・環境改善への貢献ができることから近年益々注目を集めている。産業革新機構（当時、以下「INCJ」）は、2012 年 10 月、既存投資先の日本インター株式会社とともに、今後、成長が見込まれるパワーデバイス市場におけるオープンイノベーションの創出を期待し、Transphorm 社に出資することを公表した。

（2）事業の進捗

INCJ 投資後、Transphorm 社は、高耐圧（600V 超）向けの GaN トランジスタにおいて、世界で初めて半導体の規格である JEDEC 認証取得済の GaN トランジスタを製品化。

2013 年には富士通グループの GaN 事業との統合を行い、2015 年には、富士通セミコンダクターの製造ライン（会津若松市）において、窒化ガリウム（GaN）パワーデバイスの量産を開始し、市場開拓を推進。

その後、Transphorm 社は、2015 年 6 月に、KKR から出資を受け、他社との協業体制を広げるとともに、市場トレンドの追い風も受け、2020 年 8 月には米国 OTCQB 市場に株式を公開、2021 年 5 月には OTCQX Best 市場に変更し、さらに本年 2 月には、NASDAQ 市場への上場を果たした。

(3) Exit の経緯・内容

INCJ は、投資後、新たな出資のための呼び水効果や、日本の事業者との事業統合を実現するなど、KKR の出資に至るまで、研究開発型ベンチャーの開発段階から量産化への移行期を支援した。投資後 9 年を経て、米国証券市場での株式公開も果たし、順調に経営基盤の強化、事業拡大が進捗していると判断、INCJ の保有する株式の全部を証券市場にて売却することとし、このほど売却が完了した。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

本案件を踏まえて、引き続き株式会社 INCJ の支援案件の収益最大化を行いつつ、投資判断や海外への事業展開を支援する際の課題等を分析すること。加えて、分析によって得られた知見を、株式会社産業革新投資機構の投資活動に活かすことや幅広く社会に還元することを通じて、我が国の産業競争力の強化に貢献されたい。

<本発表資料に関するお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 奥村、野々宮（報道関係）

東京都港区虎ノ門一丁目 3 番 1 号 東京虎ノ門グローバルスクエア

電 話 : 03-5218-7202 URL : <https://www.j-ic.co.jp/jp/>